

■児童・生徒の学力の状況

○基礎的・基本的な学力の定着が進んでいる。一方、学習したことを活用し、自分の考えを根拠を明確にして表現する力をさらに伸ばす必要がある。

○「読み解く力」の育成を進めているが、情報を比較・関連付け、考察し、表現する力をさらに育成する必要がある。

○児童が自分の学習状況に応じて、学習方法等を選択・調整する力を育成する必要がある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題
※「読み解く力」の育成を踏まえて

○「読み解く力」を基盤に、自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現する授業を充実させる。

○児童が自分に合った学習方法や学習形態を選択・調整できる授業づくりを進める。

○「先行学習」と「問題解決型の授業」を効果的に活用し、知識・技能の定着と活用を図る。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○学ぶ楽しさを広げる

- ・「先行学習」と「問題解決型の授業」をそれぞれの学習効果を概みながら指導に取り入れ、児童の学習意欲を引き出す。
- ・児童一人一人が学習の成果や課題を自覚できるように促し、自分に合った学習方法を選択し、学びを調整する場面を設定する。

○「読み解く力」を高める

- ・読書や共書き等の活動を通して、読む力・書く力を高める。
- ・話す聞く活動を計画的に行い、自分の考えを分かりやすく伝える力や相手の伝えようとする内容を受けとめる力を育成する。
- ・ICTを効果的に活用し、読み解く力の向上を図る。

○主体的・対話的で深い学びを実現する

- ・自分の考えをもち、友達との交流を通して考えを広げ、深める学習を充実させる。
- ・言語活動や関わり合いの活動を充実させ、協働的な学びを進める。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードSを生かした授業	「読み解く力」を育成する授業	「先行学習」と「問題解決型の授業」の効果的な活用
○各教科等の授業において、めあて→自力解決→協働で解決→まとめ・振り返りの流れを定着させる。 ○児童が学習内容や方法等を選択し、自分の学びを調整する場面を設定する。	○教材研究を丁寧に行い、教科書教材を十分に生かした授業展開をする。 ○文章や資料等から必要な情報を読み取り、比較・関連付け・考察し、根拠を明確にして表現する活動を充実させる。 ○辞書を手元に置き、どの授業でも使用することで語彙を増やす。	○学習内容や児童の実態に応じて「先行学習」と「問題解決型の授業」をそれぞれの学習効果を概みながら指導に取り入れ、知識・技能の定着と活用を図る。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
○小中学校間で学習内容や指導の系統性について情報共有を行い、学びのつながりを意識した指導の充実を図る。 ○地域との関わりを深め、郷土板橋を愛する心を養うために、地域の伝統文化や行事にふれる機会を設定する。地域の人材を活用した学習活動や児童と地域の人が共に学ぶ活動を生活科、総合的な学習の時間、社会科、特別の教科道徳を中心に展開していく。	○児童の学習状況や授業実践を学年・教科等で共有し、実践の成果と課題を次の指導計画や授業改善につなげる。 ○各教科や総合的な学習の時間で、「先行学習」と「問題解決型の授業」を使い分け、協働して学び合う態度を育てる。また、生涯にわたって学び続ける意識と課題を見付け粘り強く探究する態度ならびに自ら課題をもち、学び続けるための資質・能力を養う。	○「プログラミング」を中心とした学習内容を、各学年の教科・領域等に適切に位置付け、実施する。 ○一人一台端末を活用して、すららドリル等の個に応じた学習や調査活動、表現・製作、発表や話し合い、共同製作、インターネットを活用した学習など個別最適な学びと協働的な学びを実現する。